

男女共同参画及び性の多様性に関する アンケート結果報告書

令和6年11月
常滑市

調査概要

1 調査の目的

男女共同参画に性の多様性社会(ジェンダー平等)の視点を加えた、市としての目指す姿や基本理念、基本目標、具体的な取組をとりまとめた指針を策定するに当たり、男女共同参画及び性の多様性に関する意識を把握し、実情に沿った指針とするためアンケート調査を実施した。

2 調査の方法と配布回収数

■ 調査の方法

調査地域	常滑市全域
調査対象者	住民基本台帳から無作為に抽出した 1,000 人
調査期間	令和 6 年 7 月 31 日（水）から 8 月 20 日（火）まで
調査方法	郵送で送付し、返信用封筒及びインターネットで回答 回答は無記名方式

■ 回答状況

対象者	回答者数	回答率
1,000 人	333 人 (内インターネット回答 111 人)	33.3%

3 報告書の見方

■ 回答結果の割合「%」は、その設問に対しての回答者数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点第 1 位で四捨五入しております。

■ 回答結果の割合で 0.5%未満は 0 %と表記されます。

調査結果

1 回答者の属性

性別

	男性	女性	答えたくない	その他	無回答	合計
回答数	141	177	5	0	10	333
割合	42%	53%	2%	0%	3%	100%

年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
回答数	2	30	46	74	54	51	66	10	333
割合	1%	9%	14%	22%	16%	15%	20%	3%	100%

職業

	回答数	割合
自営業(農林漁業)	6	2%
自営業(商工サービス業)	8	3%
自営業(自由業)	15	5%
会社員、公務員など(管理職)	22	7%
会社員、公務員など(専門技術職)	34	11%
会社員、公務員(事務職)	67	21%
会社員、公務員(労務職)	29	9%
家事専業	49	15%
学生	7	2%
その他	81	25%
合計	318	100%

結婚しているか

	結婚している	結婚していたが 離婚死別した	結婚していない	合計
回答数	238	24	57	319
割合	75%	7%	18%	100%

夫婦とも職業をもっているか

	夫婦とも 働いている	自分のみ 就業	配偶者のみ 就業	その他	合計
回答数	149	25	31	39	244
割合	61%	10%	13%	16%	100%

配偶者はどのような働き方をしているか

	自営業	家族従事者	雇用者(常勤)	雇用者(非常勤)	無職	合計
回答数	24	8	95	55	29	211
割合	11%	4%	45%	26%	14%	100%

お子さんはいますか

	いる	いない	合計
回答数	219	95	314
割合	70%	30%	100%

お子さんの年齢は

	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生	専門学校	就業	その他無職	合計
回答数	29	43	24	21	14	5	118	12	266
割合	11%	16%	9%	8%	5%	2%	44%	5%	100%

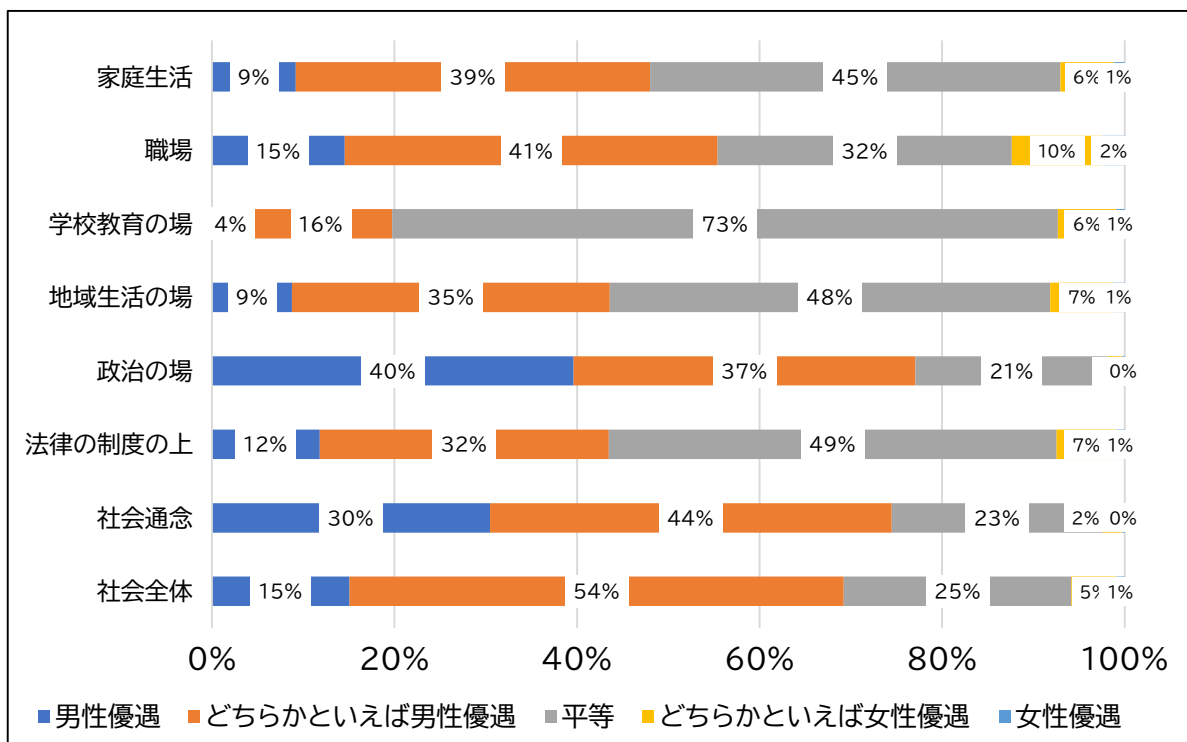
ご家族はどれか

	単身世帯	夫婦のみ	親と子ども	親と子どもと孫	その他	合計
回答数	31	84	168	27	7	317
割合	10%	26%	53%	9%	2%	100%

2 回答結果

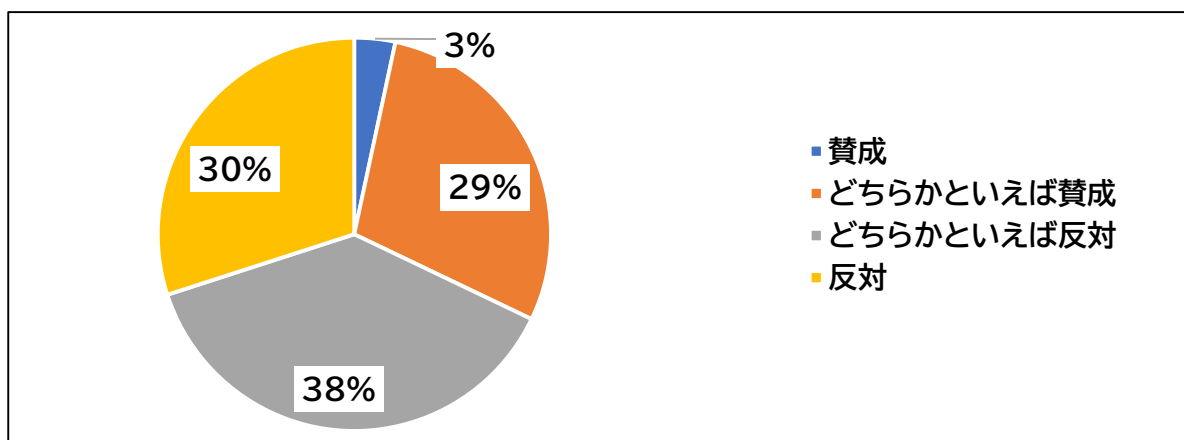
問1 次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。回答

総数:327



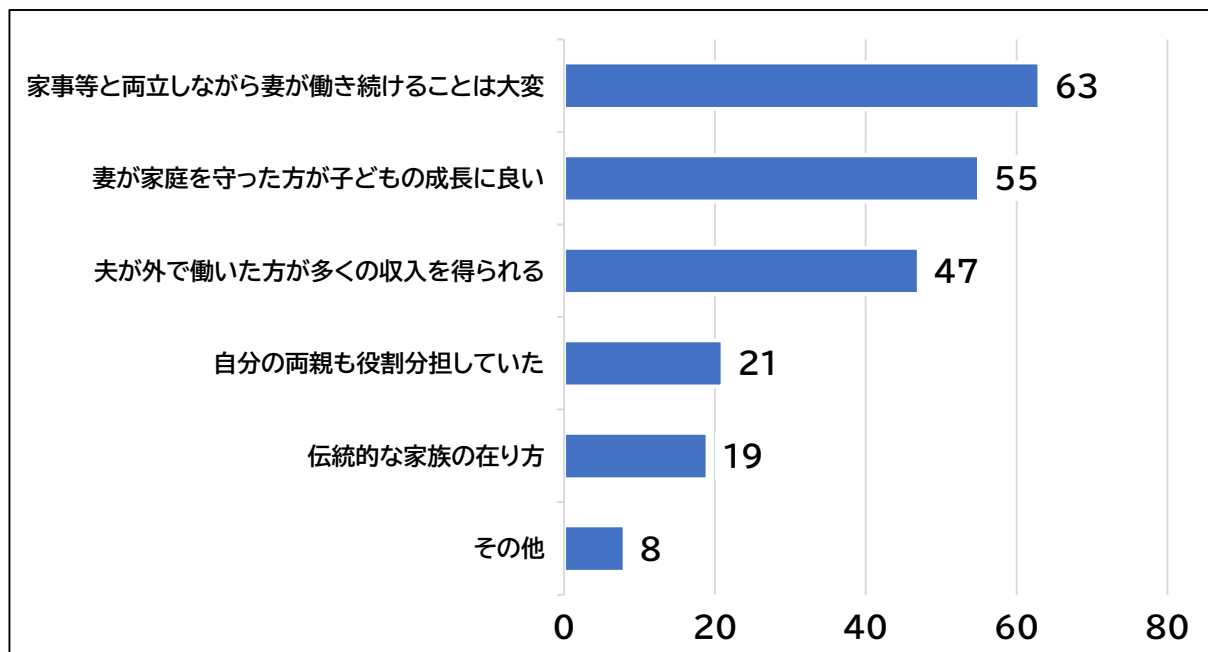
男女の地位について「学校教育の場」は 73%が平等との回答でしたが、そのほかの項目では男性優遇との回答が多かったです。

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。 回答総数:327



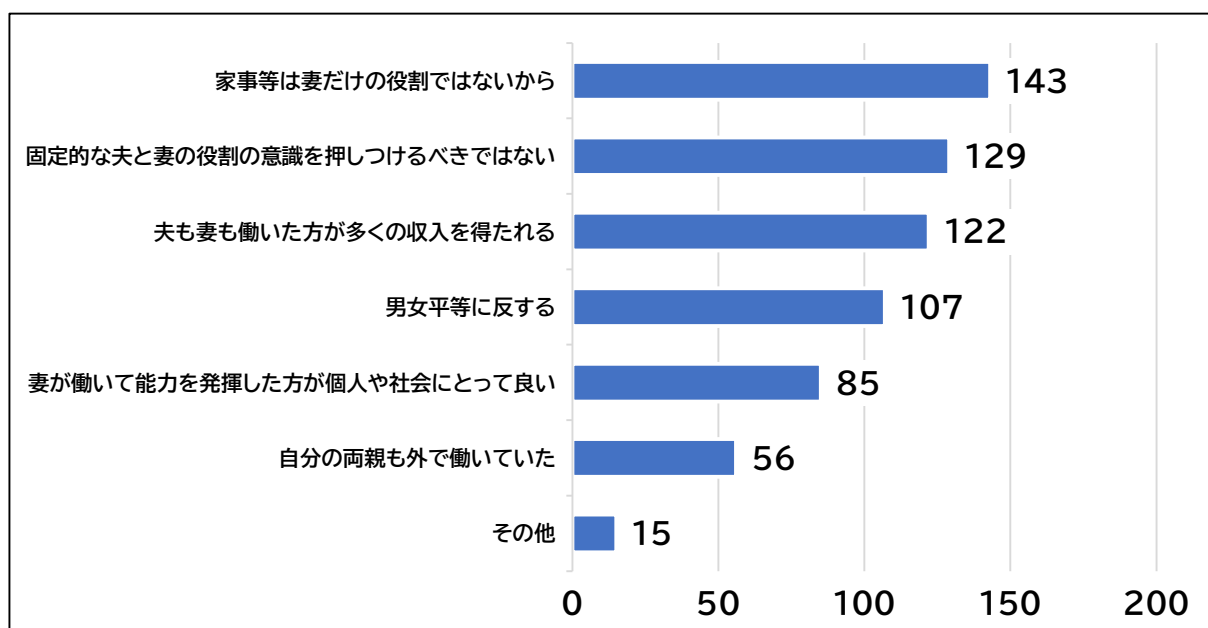
「どちらかといえば反対」の割合が 38%と最も高く、次に「反対」の割合が 30%、「賛成」の割合が 29%となっています。

問3 問2で賛成・どちらかといえば賛成と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。（複数回答可） 回答総数:213



「家事等と両立しながら妻が働き続けることは大変」が最も多く、次に「妻が家庭を守った方が子どもの成長に良い」が多かったです。

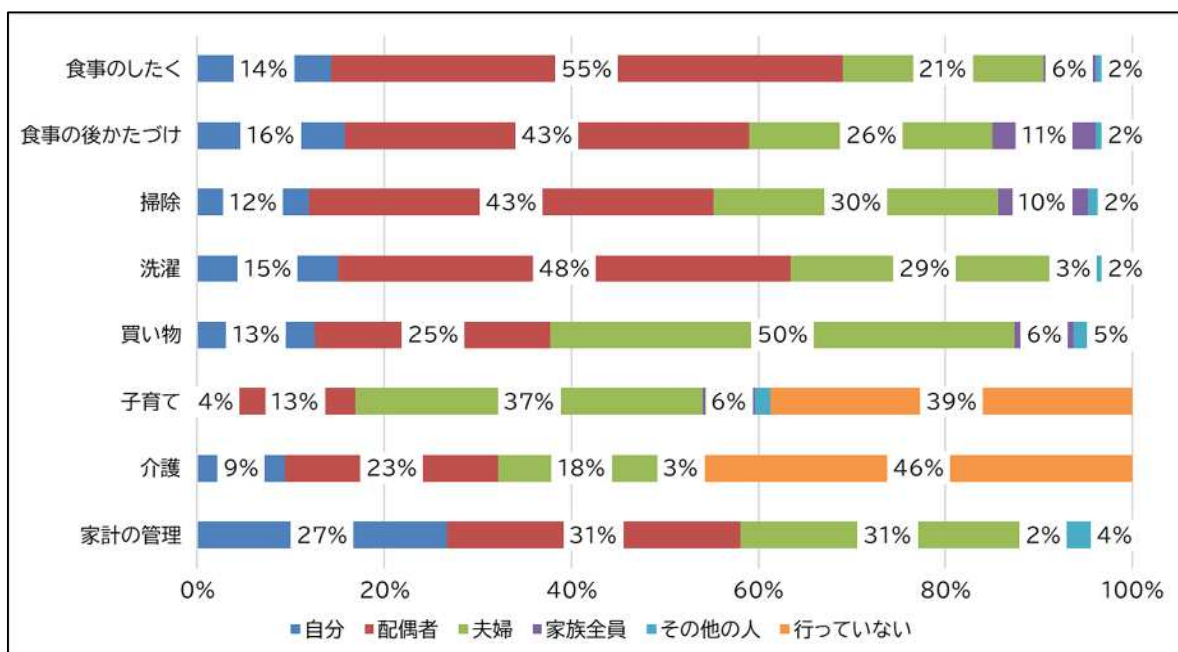
問4 問2で反対・どちらかといえば反対と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。（複数回答可）回答総数:657



「家事等は妻だけの割合ではないから」が最も多く、次に「固定的な夫と妻の役割の意識を押しつけるべきではない」が多かったです。

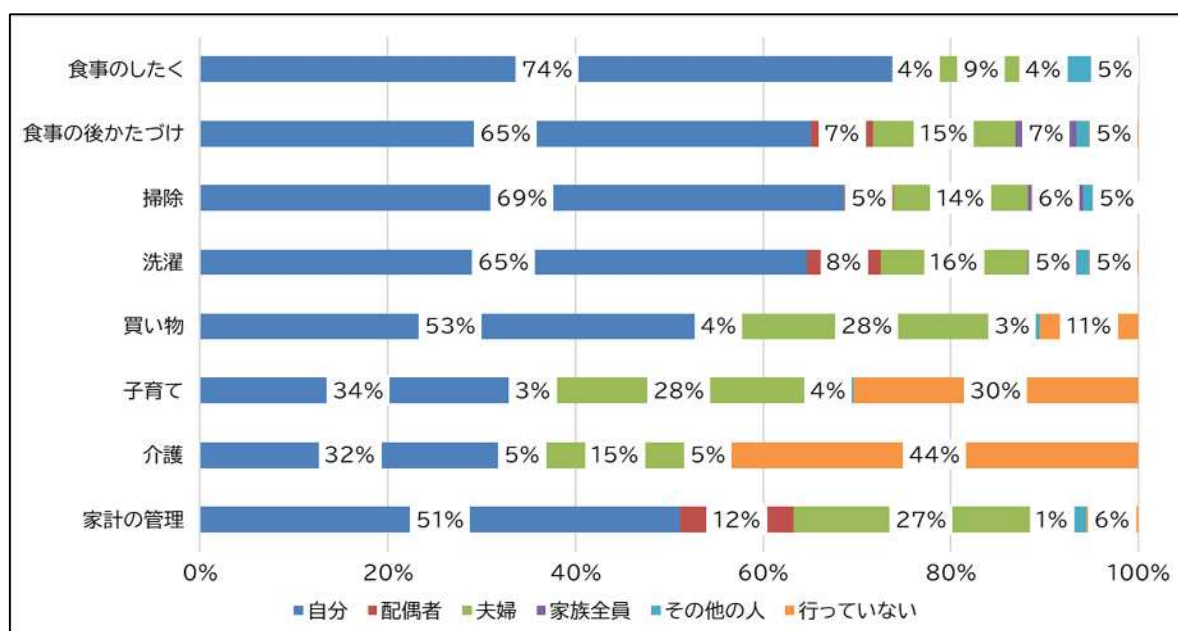
問5 「現在結婚している方、又はパートナーと暮らしている方」のみお聞きします。あなたの家庭では、次にあげる家事は主に誰が分担していますか。回答
総数：284

【回答者：男性】



自分で行っている割合は、「家計の管理」が 27%と最も高く、次に「洗濯」が 15%となっています。

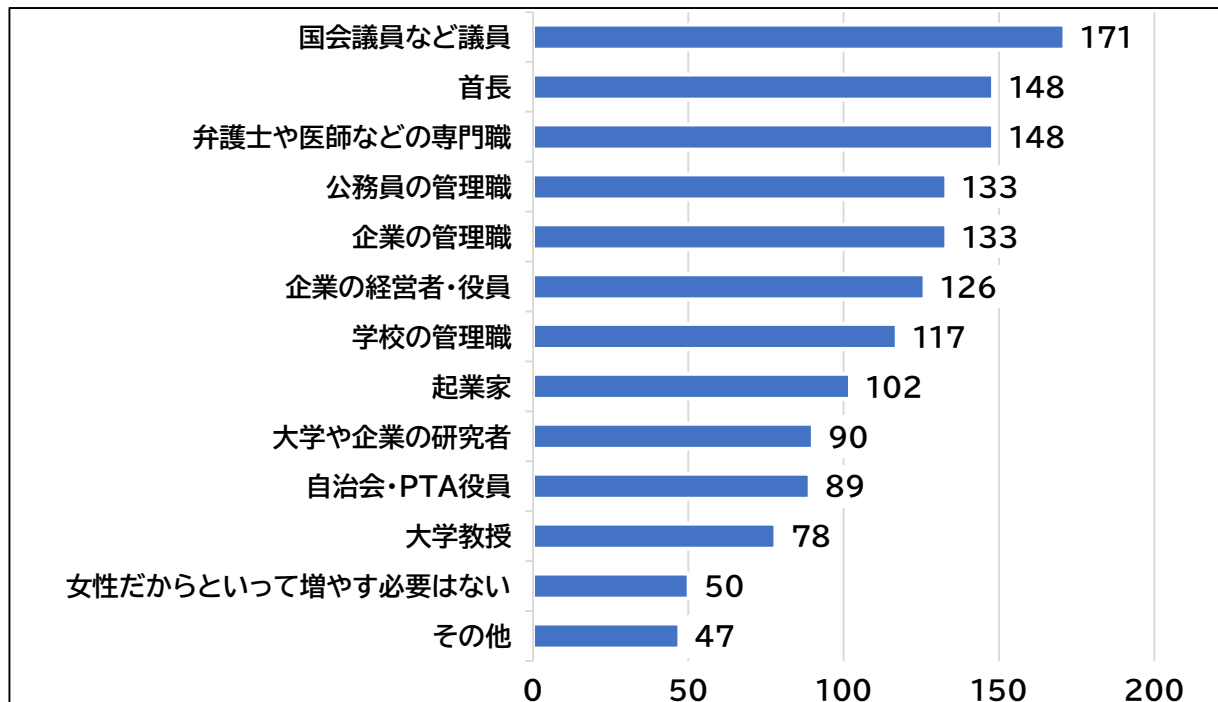
【回答者：女性】



自分で行っている割合は、「食事のしたく」が 74%と最も高く、次に「掃除」が 69%となっています。

問6 あなたが、女性が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。(複数回答)

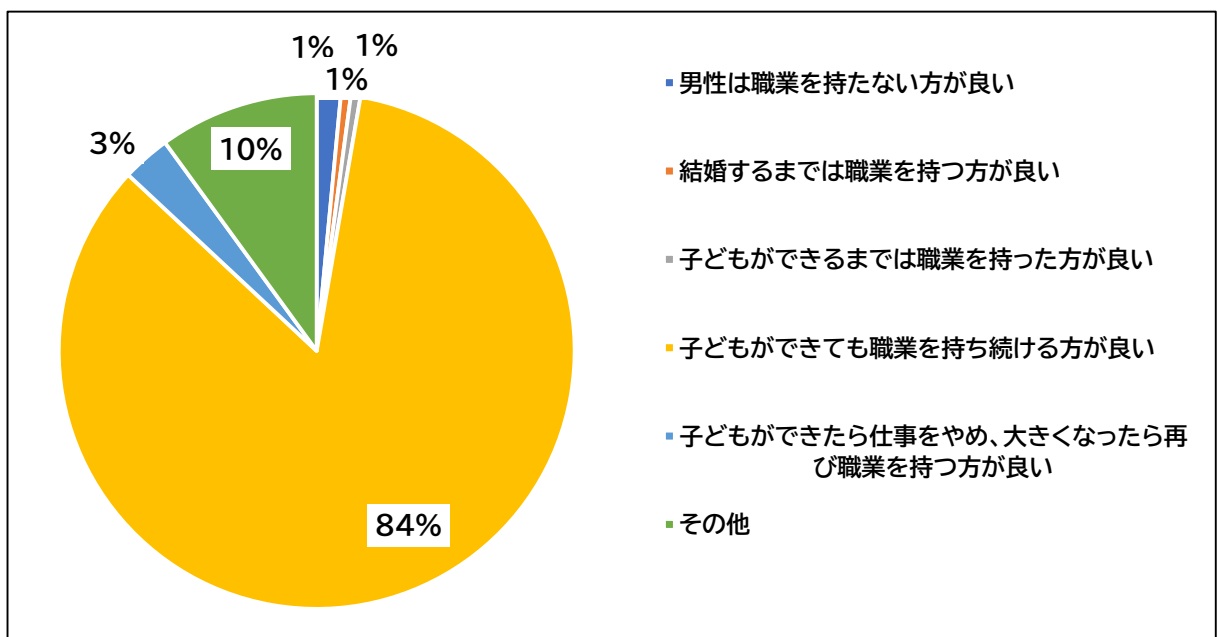
回答総数:1,432



「国会議員など議員」が最も多く、次に「首長」と「弁護士や医者などの専門職」が多かったです。

問7 男性が職業を持つことについて、あなたの考え方は次のどれに近いですか。

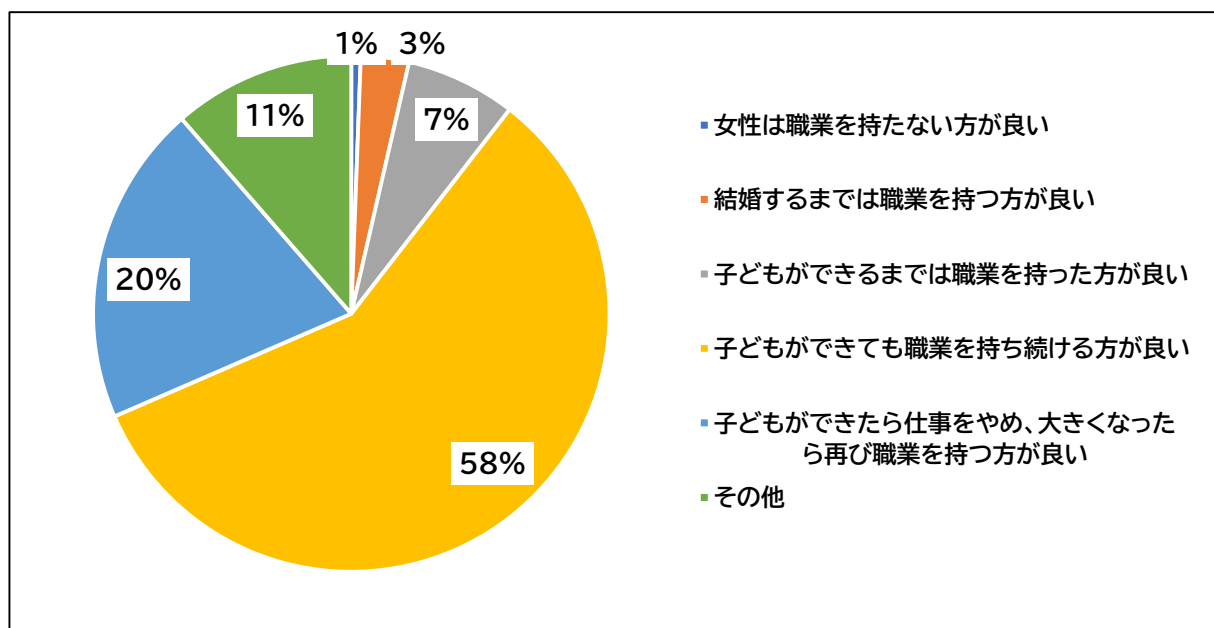
回答総数:330



「子どもができてでも職業を持ち続ける方が良い」の割合が 84%と最も高く、次に「その他」の割合が 10%となっています。

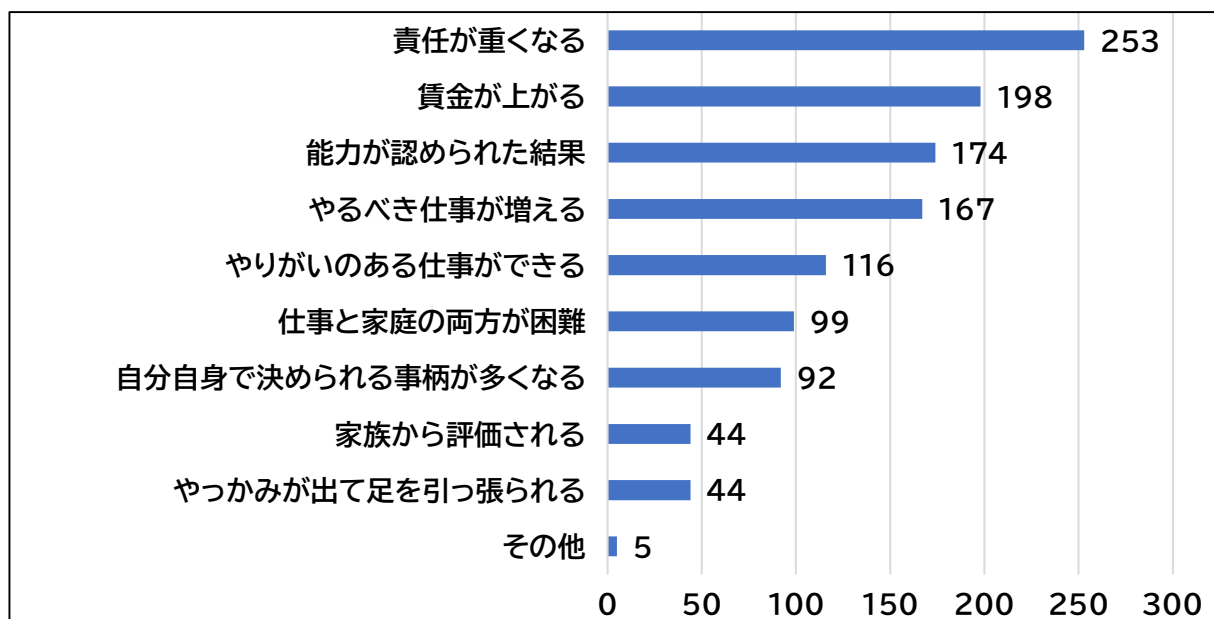
問8 女性が職業を持つことについて、あなたの考え方は次のどれに近いですか。

回答総数：330



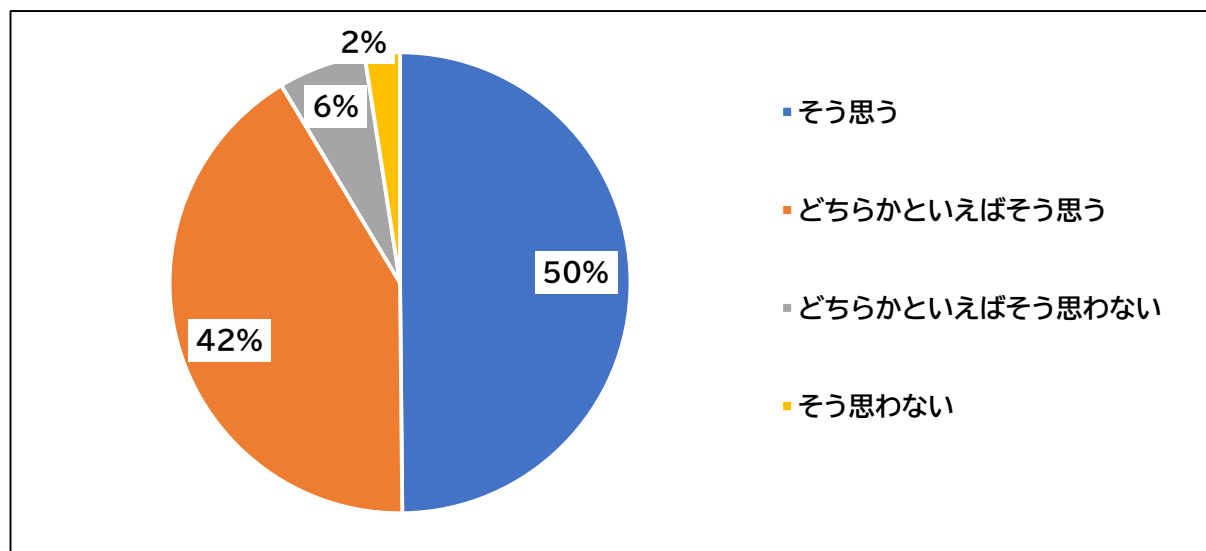
「子どもができて職業を持続の方が良い」の割合が 58%と最も高く、次に「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方が良い」の割合が 20%となっています。

問9 管理職以上に昇進することについて、どのようなイメージを持っていますか。(複数回答可) 回答総数：1,192



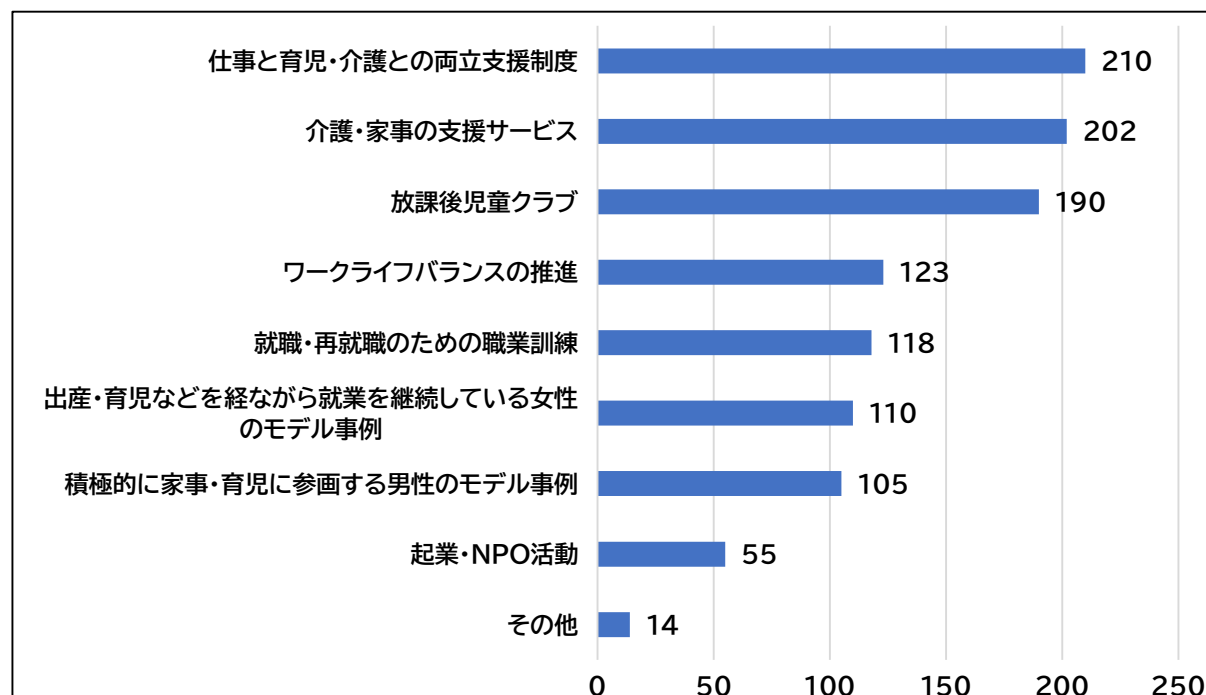
「責任が重くなる」が最も多く、次に「賃金が上がる」が多かったです。

問 10 育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが、働く場における女性の活躍が進まない要因の1つだという意見がありますが、あなたはこの意見について、どう思いますか。回答総数：325



「そう思う」の割合が 50%と最も多く、次に「どちらかといえばそう思う」の割合が 42%となっています。

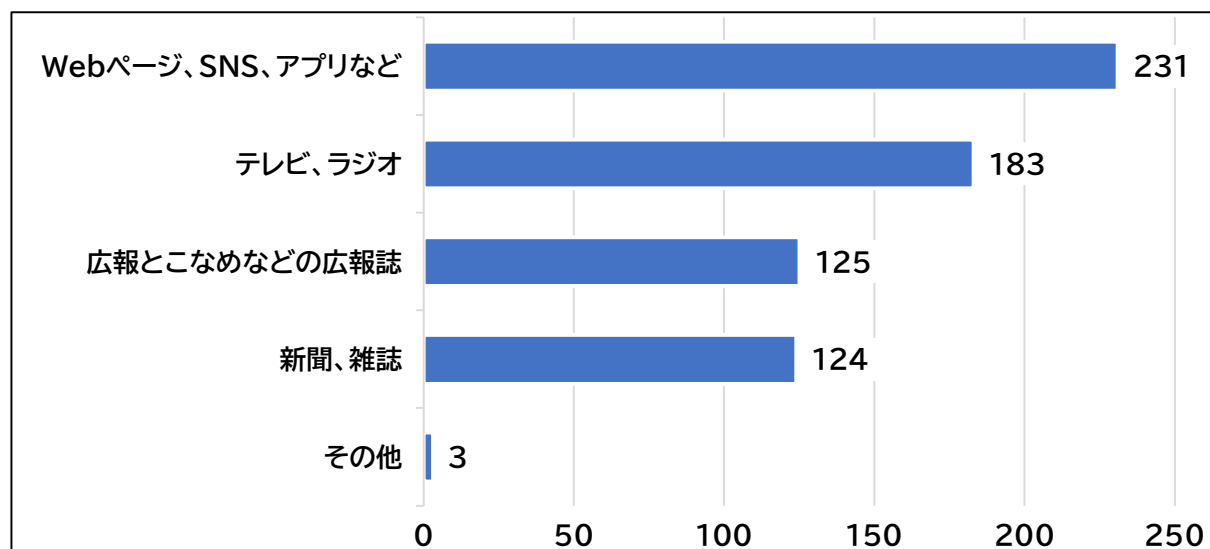
問 11 女性が活躍するために、どの情報が特に必要になると感じますか。(複数回答可)回答総数：1,346



「仕事と育児・介護との両立支援制度」が最も多く、次に「介護・家事の支援サービス」が多かったです。

問 12 あなたが情報入手する際、どの媒体を特に利用したいと思いますか。

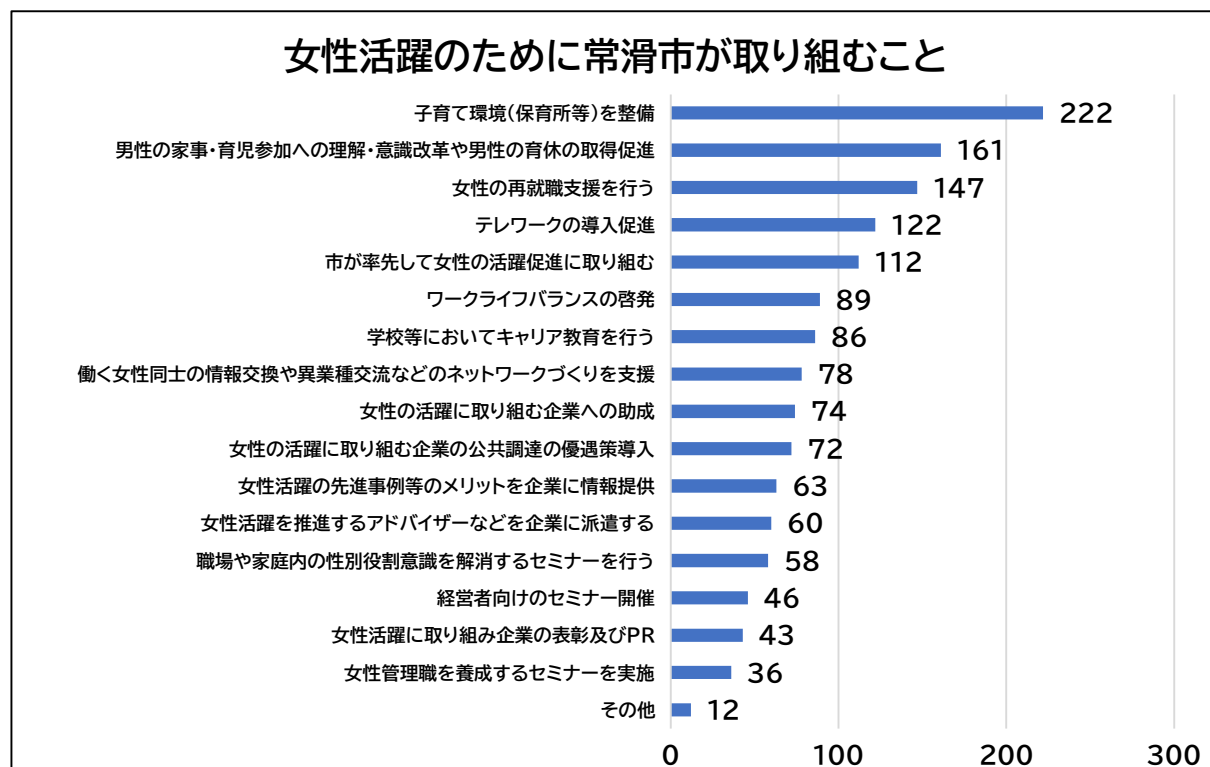
(複数回答可) 回答総数: 666



「Web ページ、SNS、アプリなど」が最も多く、次に「テレビ、ラジオ」が多かったです。

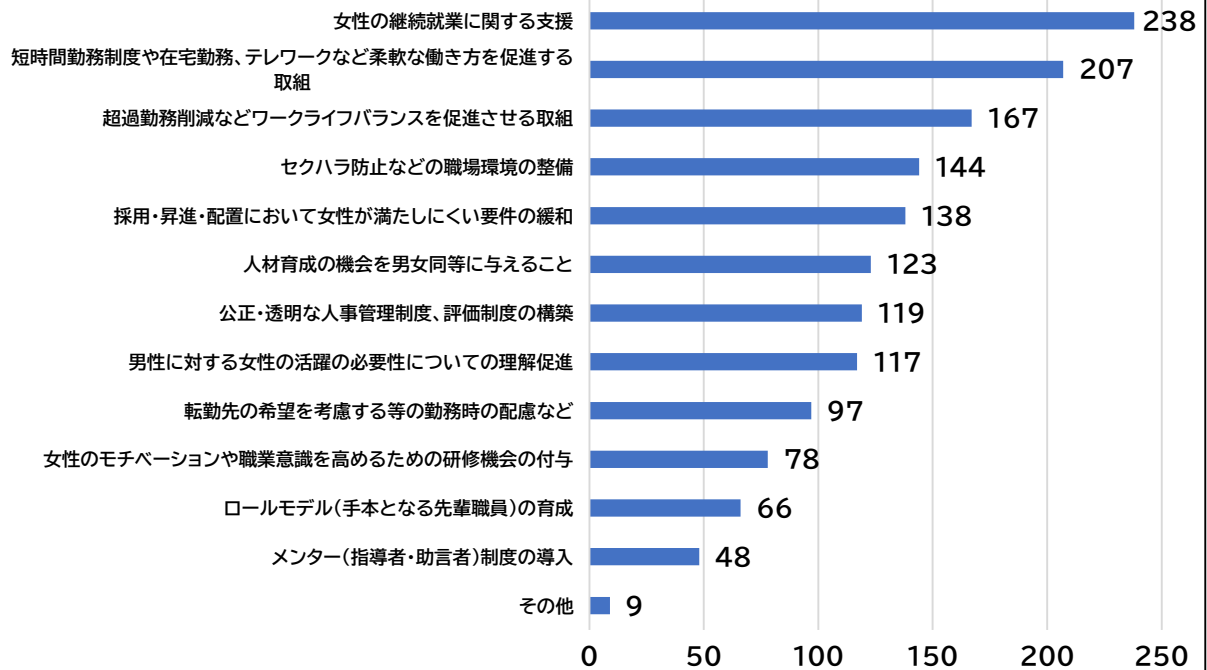
問 13 働く場において女性が更に活躍するためには、常滑市と企業がどのような

な取組を行うことが必要だと思いますか。(複数回答可) 回答総数: 1,551



「子育て環境(保育所等)を整備」が最も多く、次に「男性の家事、育児参加への理解・意識改革や男性の育休の取得促進」が多かったです。

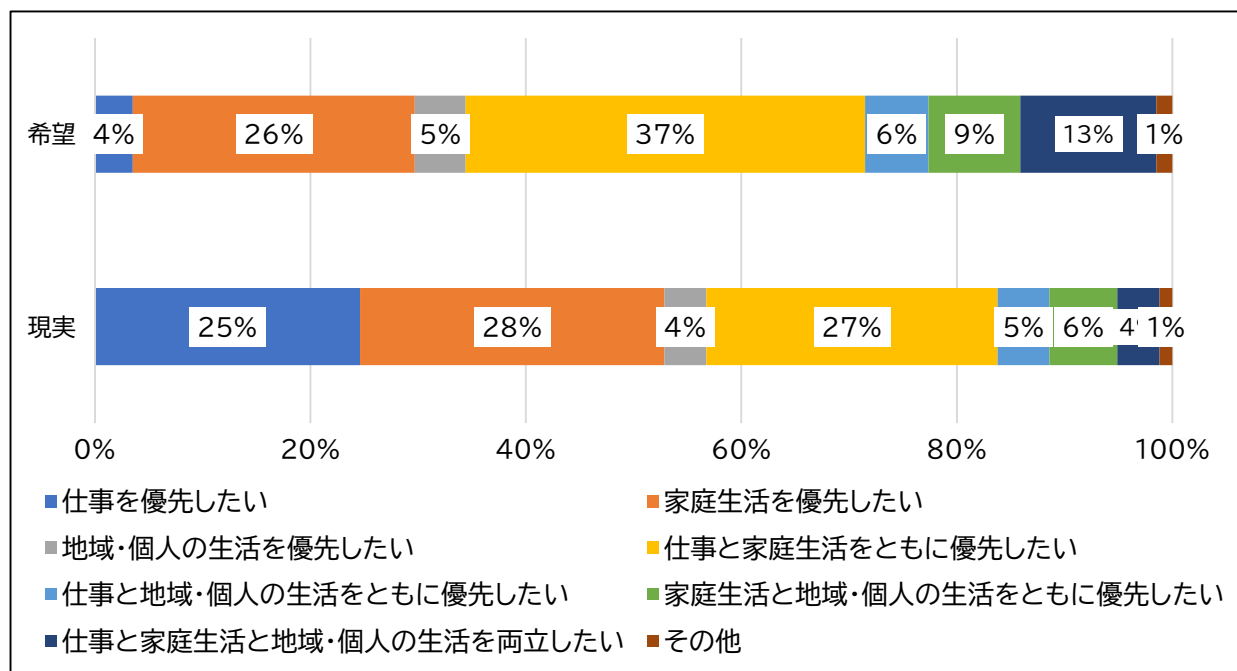
女性活躍のために企業が取り組むこと



「女性の継続就業に関する支援」が最も多く、次に「短時間勤務制度や在宅勤務、テレワークなど柔軟な働き方を促進する取組」が多かったです。

問 14 生活の中で、仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか。回

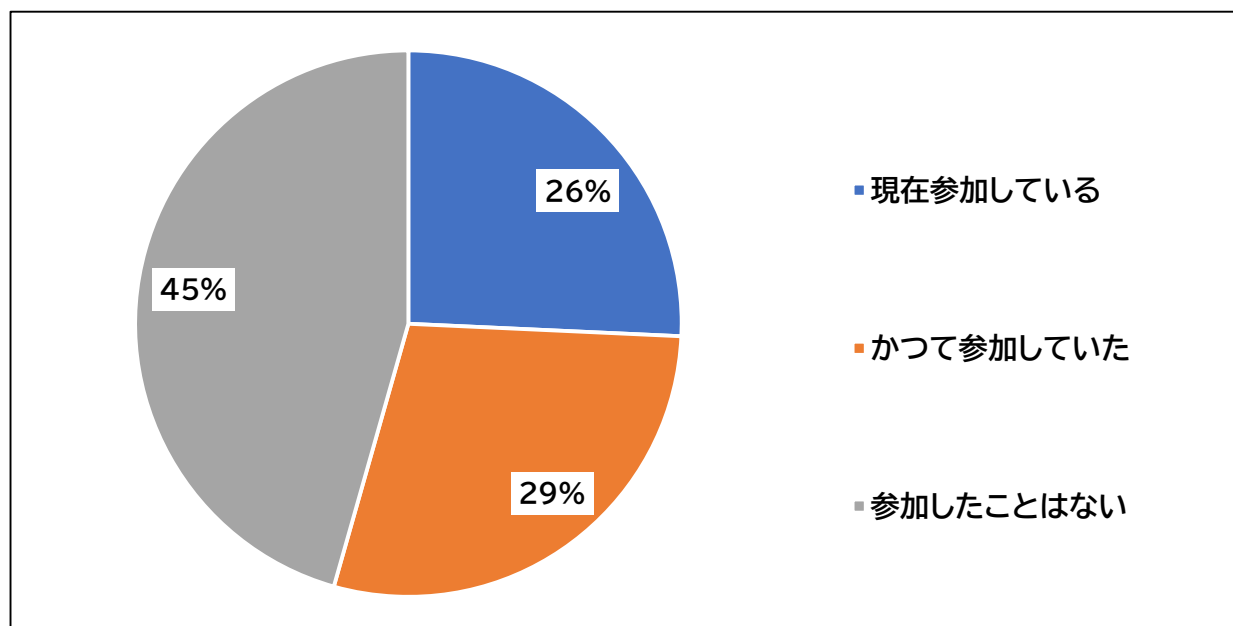
答総数: 340



希望は「仕事と家庭生活をともに優先したい」の割合が 37%と最も高く、現実には「家庭生活を優先したい」の割合が 28%と最も高かったです。

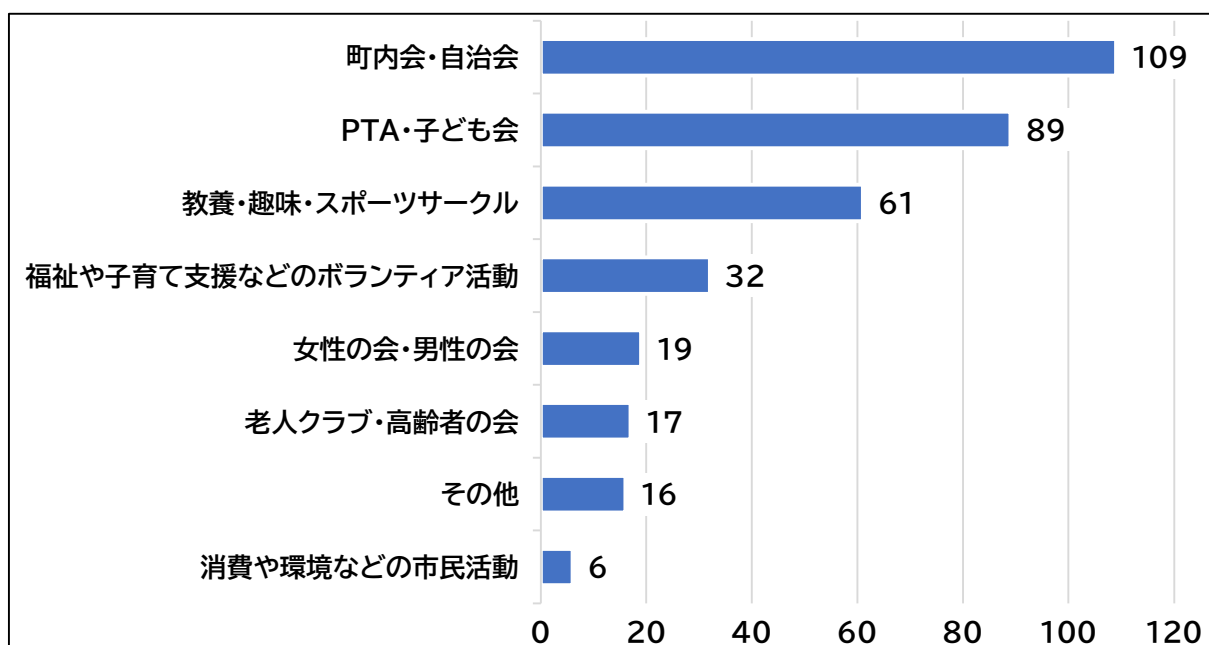
問 15 仕事以外に地域で何か活動に参加した経験はありますか。回答総数：

307



「参加したことはない」の割合が 45%と最も高く、次に「かつて参加していた」の割合が 29%となっています。

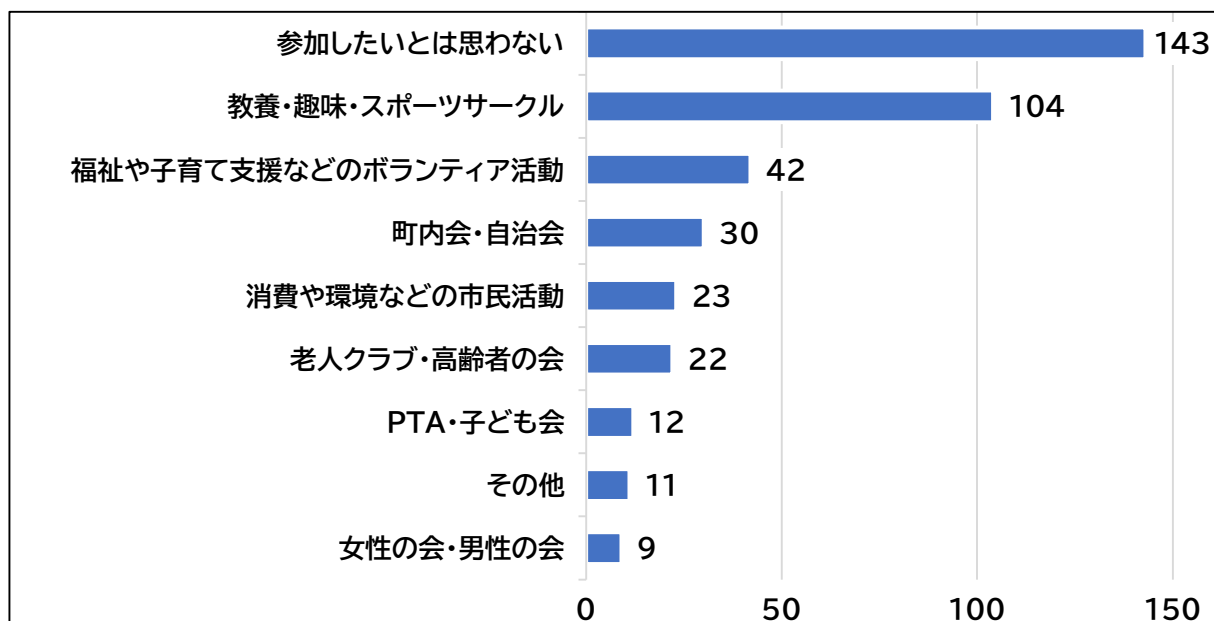
問 15-1 仕事以外に地域で何か活動に参加していますか(した経験はありますか。)回答総数：349



「町内会・自治会」が最も多く、次に「PTA・子ども会」が多かったです。

問 15-2 仕事以外に地域で何か活動に参加したい活動はありますか。回答総

数：396

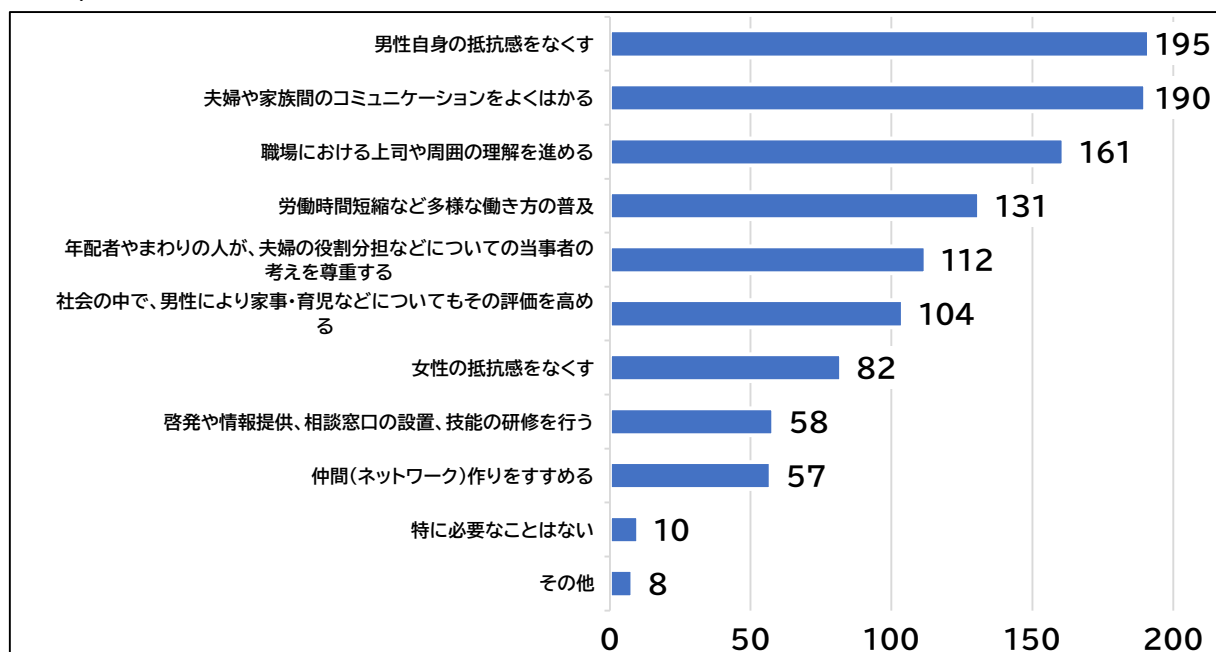


「参加したいとは思わない」が最も多く、次に「教養・趣味・スポーツサークル」が多かったです。

問 16 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくため

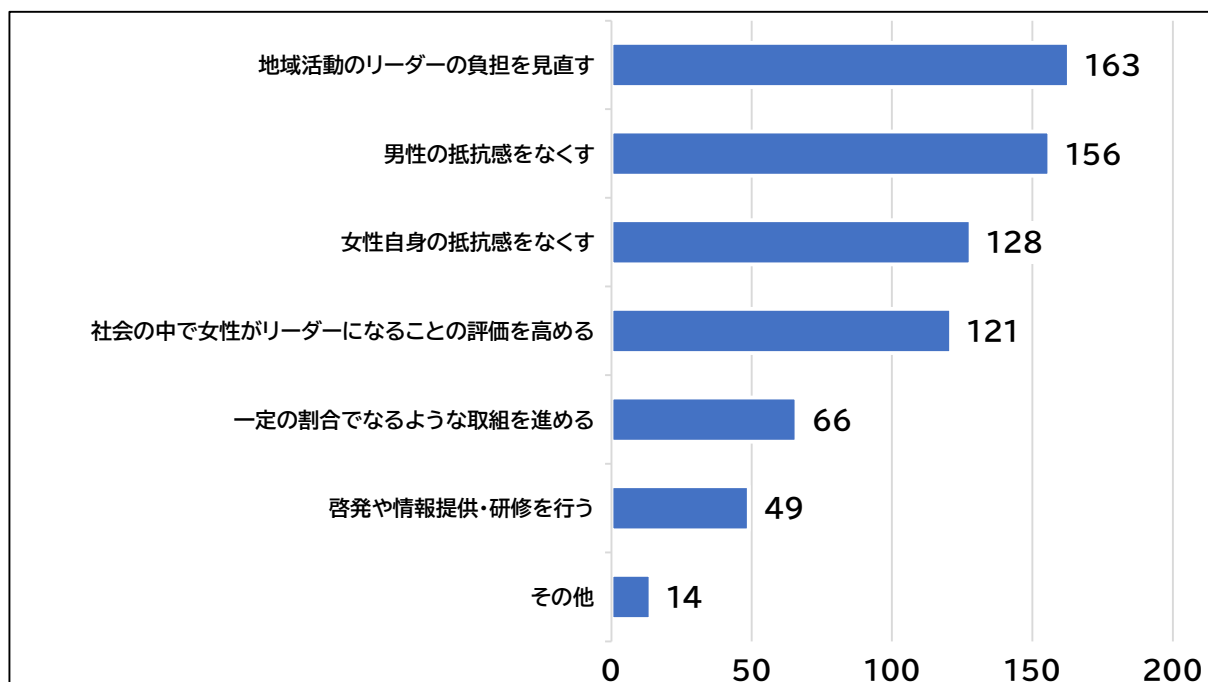
には、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）回答総数：

1,108



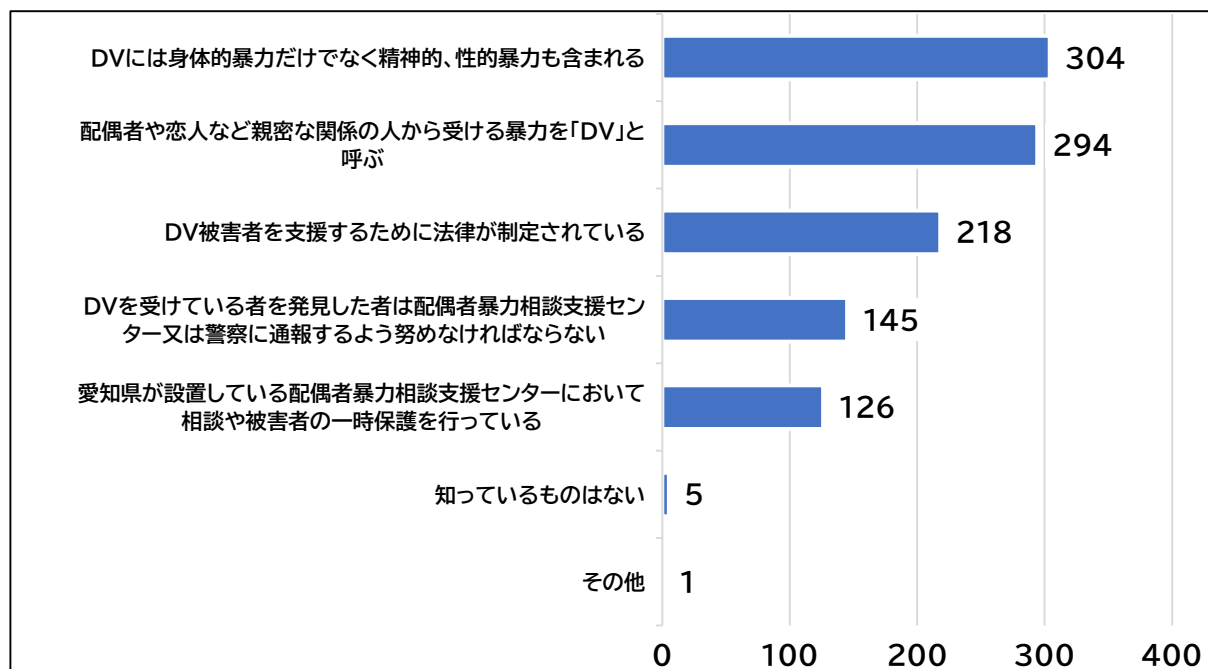
「男性自身の抵抗感をなくす」が最も多く、次に「夫婦や家族間のコミュニケーションをよくはかる」が多かったです。

問 17 自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、
どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)回答総数:697



「地域活動のリーダーの負担を見直す」が最も多く、次に「男性の抵抗感をなくす」が多かったです。

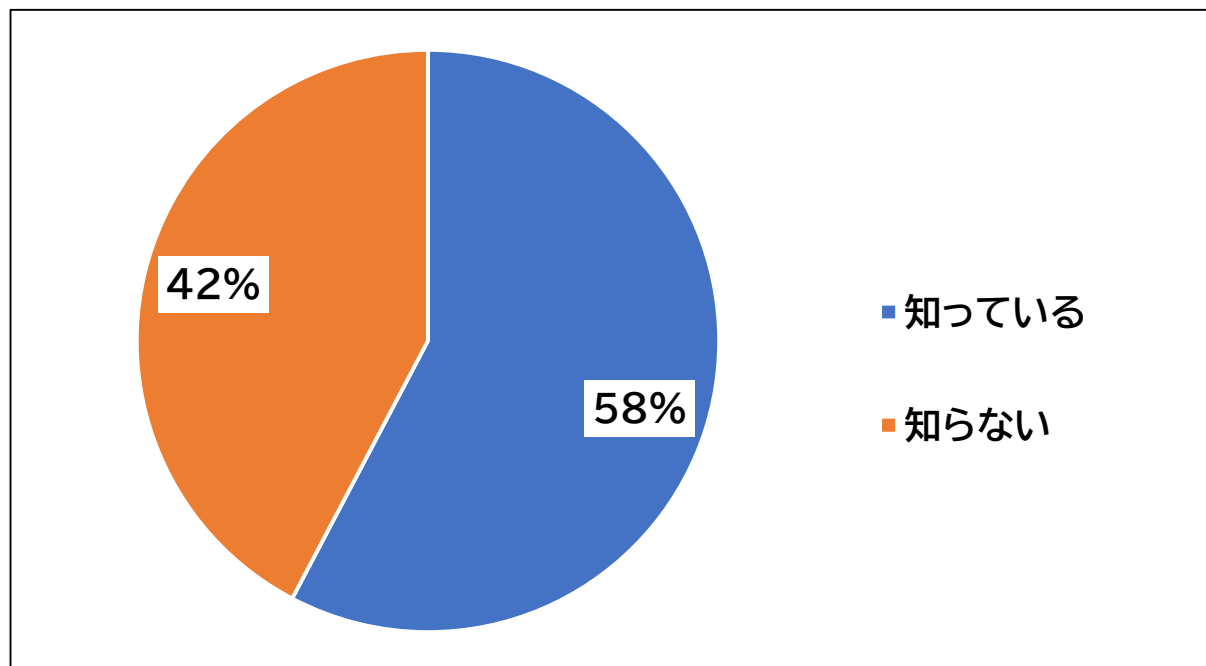
問 18 あなたは、DVに関する次のことについて知っていますか。(複数回答可)



「DV には身体的暴力だけでなく精神的、性的暴力も含まれる」が最も多く、次に「配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を「DV」と呼ぶ」が多かったです。

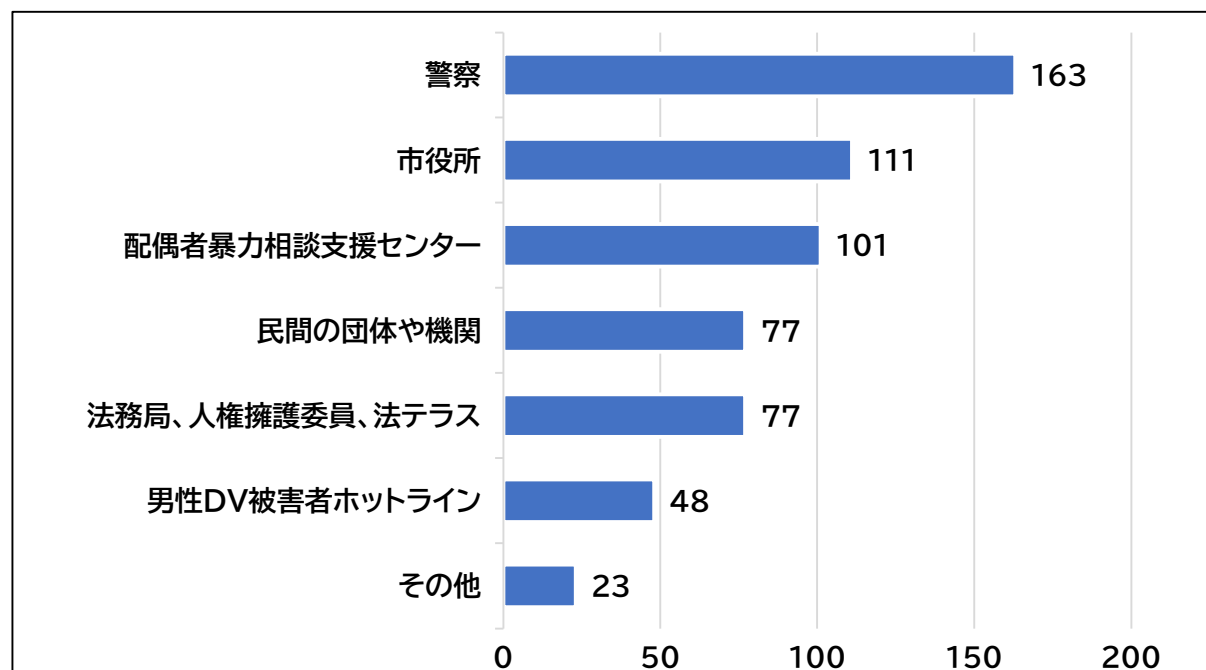
問 19 DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。回答総数：

317



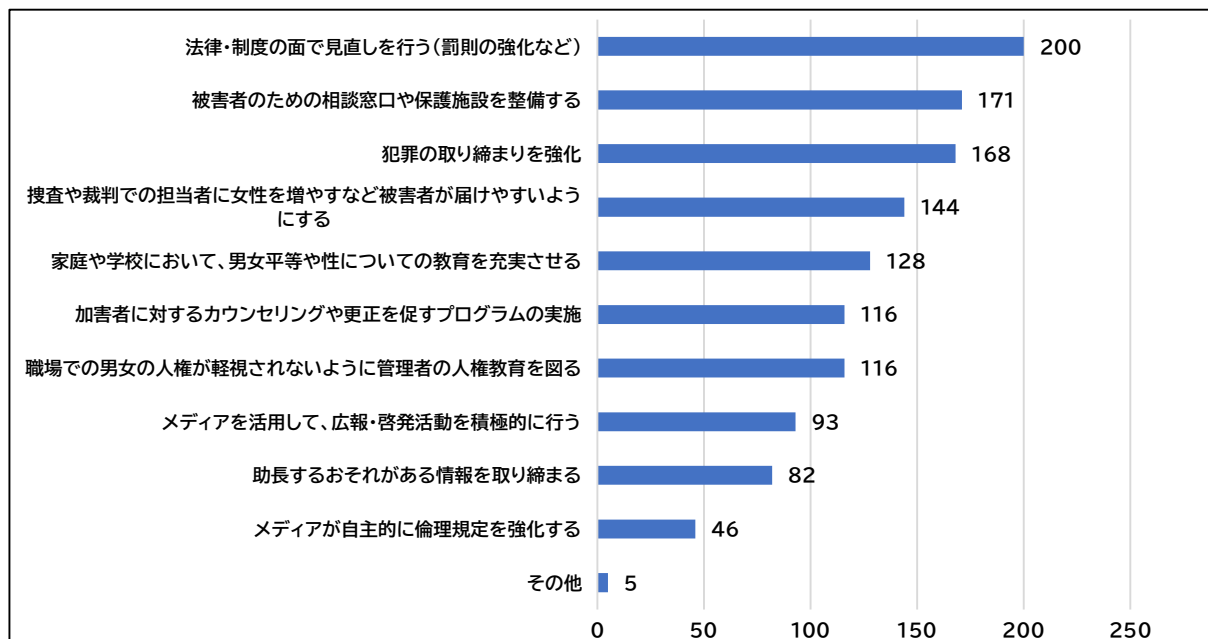
「知っている」の割合が 58%、「知らない」の割合が 42%でした。

問 20 問 19 で「知っている」と答えた方に伺います。相談できる窓口について、どのようなところを知っていますか。(複数回答可)回答総数：600



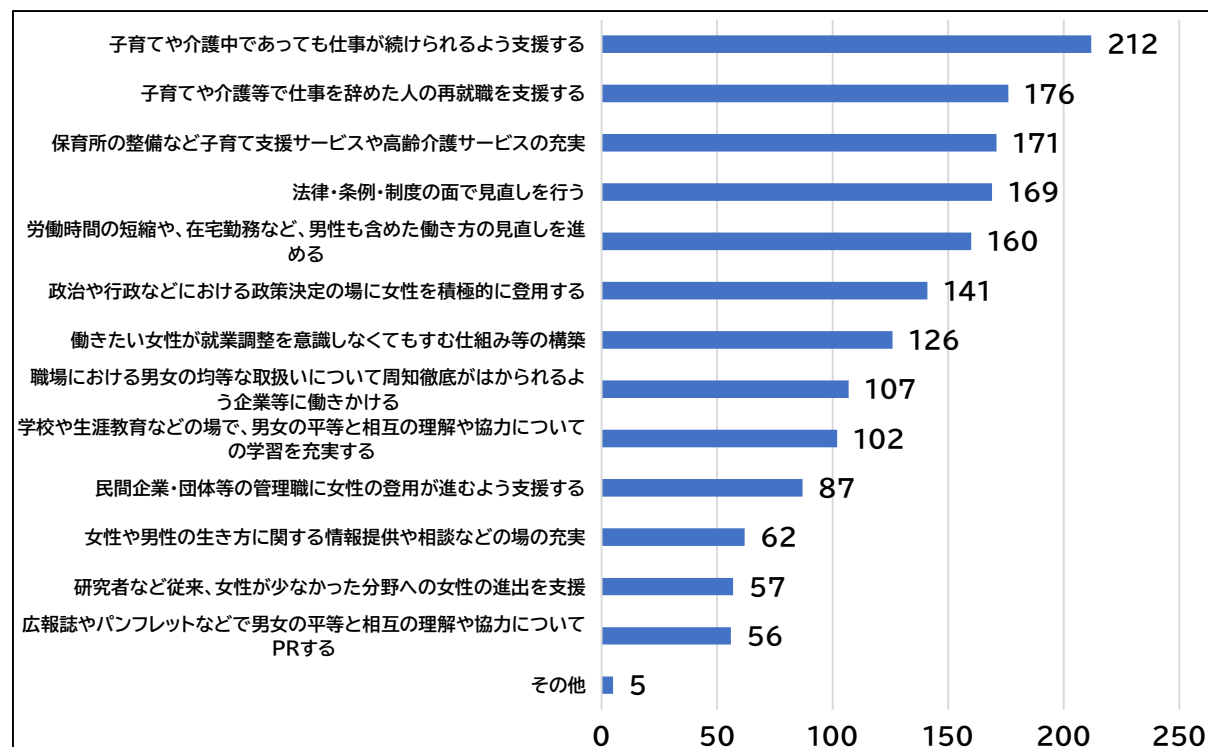
「警察」が最も多く、次に「市役所」が多かったです。

問 21 DV、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪、売買春などを防止するために
何が必要だと思いますか。(複数回答可)回答総数:1,269



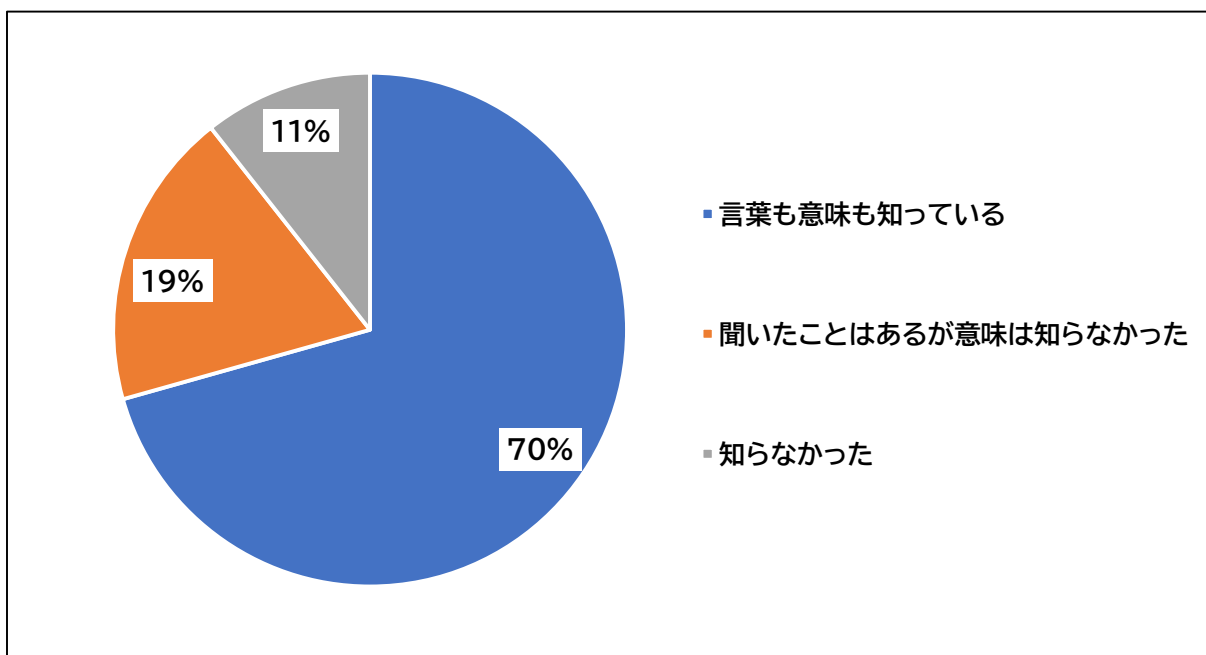
「法律・制度の面で見直しを行う(罰則の強化など)」が最も多く、次に「被害者のための相談窓口や保護施設を整備する」が多かったです。

問 22 男女共同参画社会を推進していくために、行政は今後どのようなことに
力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答可)回答総数:1,631



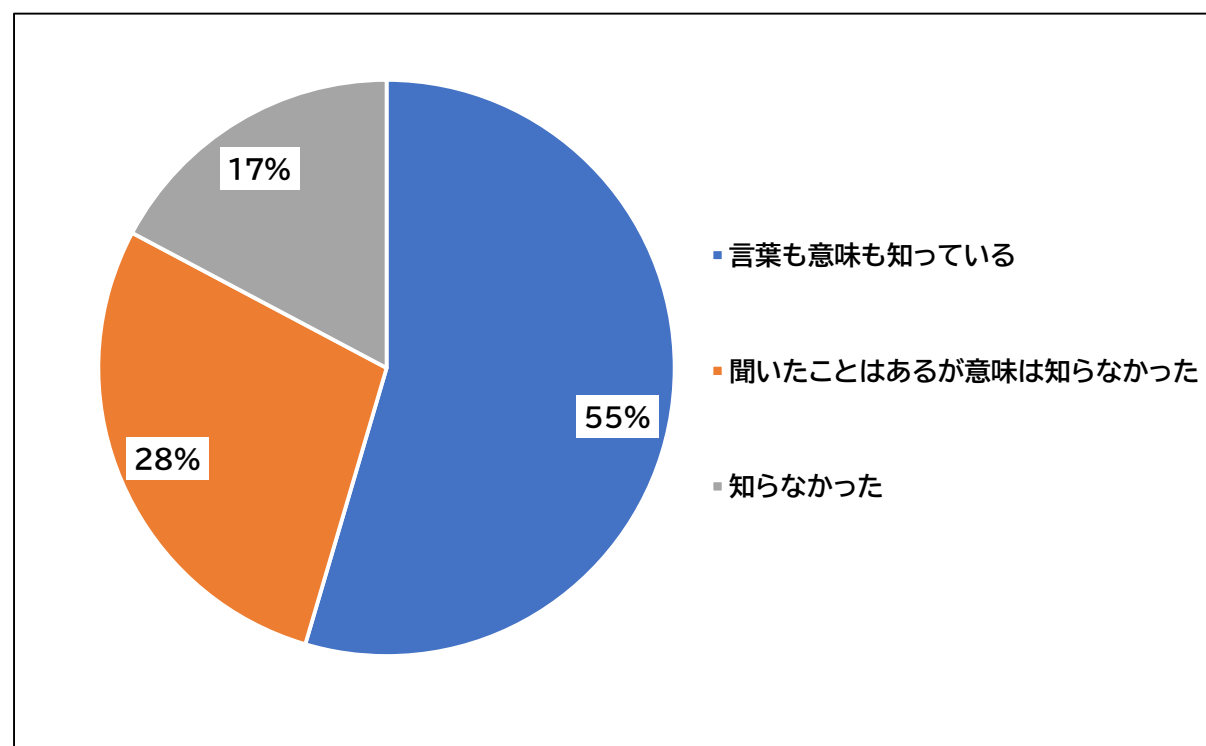
「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が最も多く、次に「子育てや介護等で仕事を辞めた人の再就職を支援する」が多かったです。

問 23 LGBTQ+という言葉を知っていますか。回答総数：320



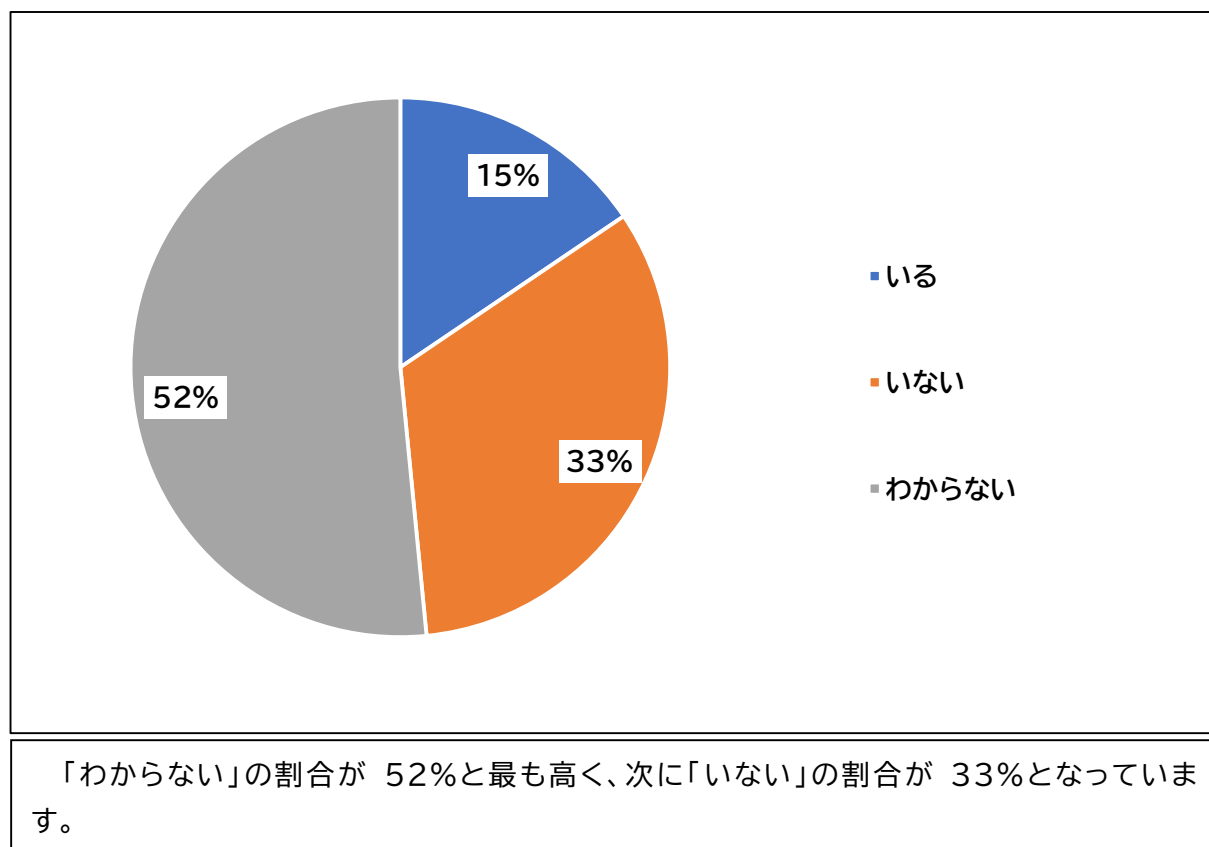
「言葉も意味も知っている」の割合が 70%と最も高く、次に「聞いたことはあるが意味は知らなかった」の割合が 19%となっています。

問 24 性的指向という言葉を知っていますか。回答総数：319

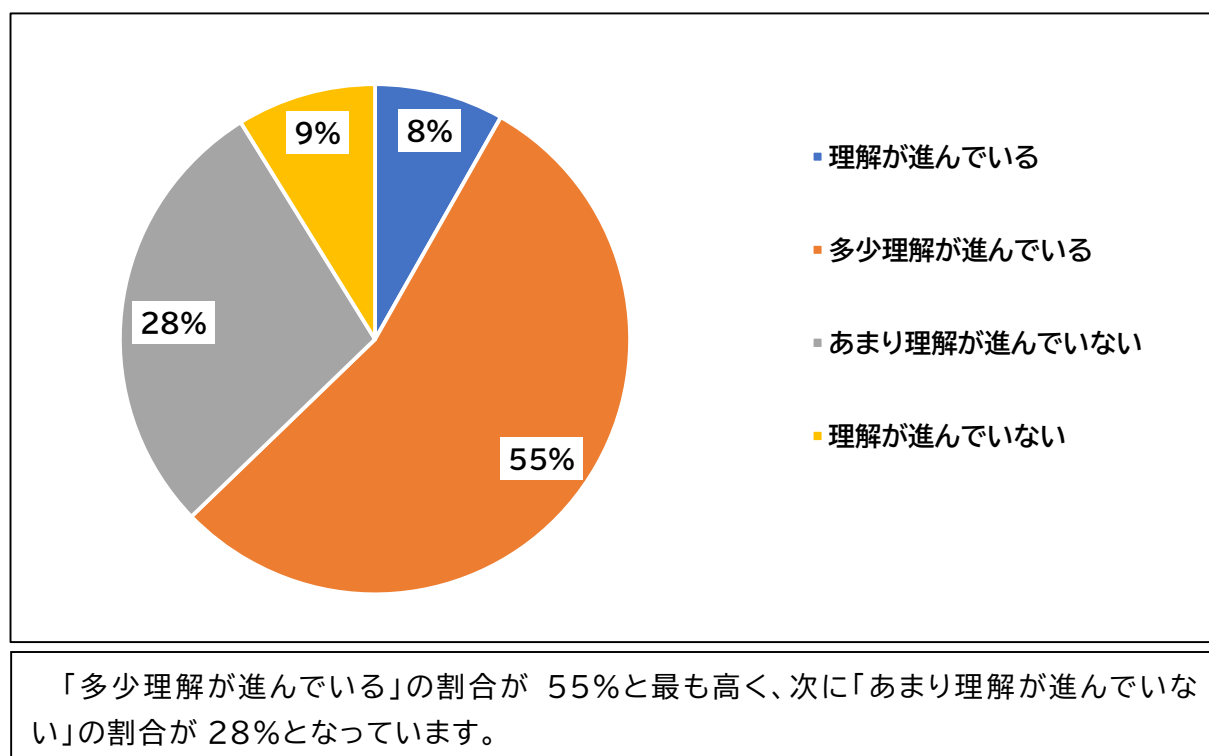


「言葉も意味も知っている」の割合が 55%と最も高く、次に「聞いたことはあるが意味は知らなかった」の割合が 28%となっています。

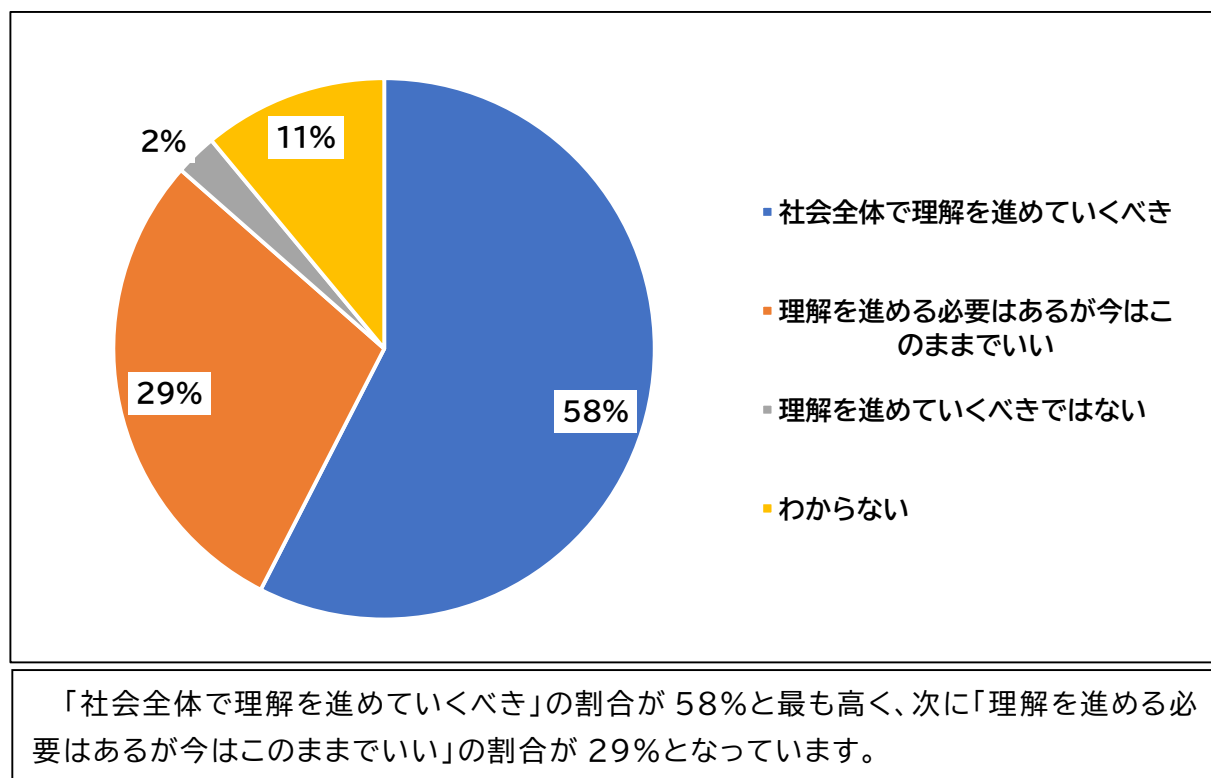
問 25 周囲に LGBTQ+の方はいますか。回答総数：322



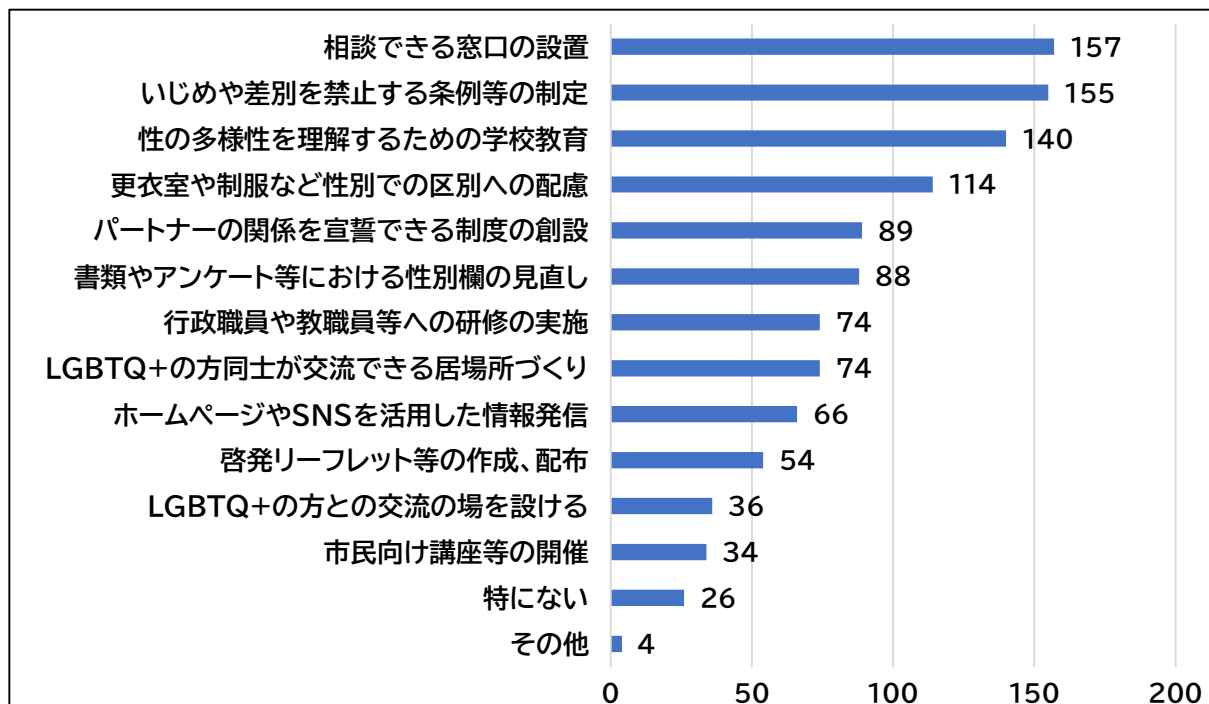
問 26 社会全体における性の多様性への理解が進んでいると思いますか。回答総数：291



問 27 性の多様性について、どのように感じていますか。回答総数：318



問 28 性の多様性に対する理解の促進や支援のために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。回答総数：1,111



「相談できる窓口の設置」が最も多く、次に「いじめや差別を禁止する条例等の制定」が多かったです。